

里山を、みどりとふれあうフィールドとして活用し、みどりの大切さを学びながら地球環境の保全や生物多様性の保全、低炭素社会の取組みに向けた市民意識の醸成を図るほか、みどり資源の有効利用にも取組みましょう。

各担い手の役割

● 市民	市民は、活動団体や行政、企業が企画する里山活動やイベントに参加するなど、積極的に自然にふれあい楽しみながら里山が持つ機能について理解を深めましょう。
● 活動団体	活動団体は、行政との連携のもと、それぞれの目的に応じ、自然とのふれあい活動や環境教育、みどりのリサイクル活動など、自主的な里山活用活動を展開しましょう。
● 企業	企業は、里山を活用した観光イベントの開催や地材地消の取組みを進めましょう。
● 大学・専門	大学など専門機関は、里山の活用に向けた技術支援を行いましょ。
● 行政	行政は、市有林の活用を進めるほか、市民活動のための場や機会、資材の提供、関係者や関係機関との調整・コーディネートを行います。また、木質系バイオマス燃料など、森林資源の循環利用のしくみづくりを進めます。

④里山の活用

●里山でのイベント例

森林ボランティアや行政による森と親しむイベントに多くの市民が参加しています。

<きのこ観察会(藻岩山)>



<観察会(札幌ふれあいの森)>



<間伐体験(旭山都市環境林)>



●間伐材の活用例

間伐材を活用して、きのこづくりや、木工体験などを行っています。

<間伐材を活用したきのこづくり>



<木工クラフト体験(札幌ふれあいの森)>




ペレットストーブの燃料として活用



間伐材などの木を材料としたペレット燃料の生産と活用。

制度・支援メニュー


ボランティア
 <みどりのボランティア>
 <森林ボランティア>
 制度 P.094

G 里地での活動の取組み

<里地でのみどりづくりのあり方>

市街地をとりまく里地のみどりは、生産の場・生物の生息移動空間として維持していくほか、市民のみどりとふれあうライフスタイルのフィールドとして活用し、札幌らしい良好な都市景観・都市環境の維持向上を目指しましょう。

○里地の保全 **P.087**

関連する主なプログラム

①里地の保全

⑦⑨

○里地の活用 **P.088**

関連する主なプログラム

②農地を活用した農とふれあう場づくり

⑦⑨

③草地や水辺を活用したふれあいの場づくり

○新たな森づくり **P.089**

関連する主なプログラム

④新たな森づくり

⑦⑨⑪

